

『日本の商業・サービス業』 (教科書 P, 168~169)

日本の商業・サービス業には、世界と比べてどのような特色があるだろう？

1 多様化する日本の商業

【 **商業** 】とは＝卸売りや小売りなど、財（形のあるもの）を売買する産業

- ①都心やターミナル駅など…百貨店（「 **デパート** 」）や専門店
（例）熊本市中心部…鶴屋百貨店、パルコなど
- ②都市の郊外…大型の（ **ショッピングセンター** ）やショッピングモール
（例）熊本市郊外…イオン熊本、光の森など
- ③各地に展開…（ **コンビニエンスストア** ）（通称コンビニ）
（例）熊本市内…セブンイレブン、ローソンなど
- ④その他…自宅で買い物（ **オンラインショッピング** ）
（例）楽天市場、Amazonなど

増えているもの＝（ **②③④** ）

②：広い駐車場が確保されているから。 ③：24時間営業をしているから

④：自宅で買い物をすることができるから。

減っているもの＝（ **①** ）

・駐車場が狭い（ない）ところが多いから。

2 成長するサービス業

【 **サービス業** 】とは＝医療や福祉など、（ **サービス** ）（形のないもの）を売買する産業

①【 **少子高齢** 】化の進展 ⇒ 医療や福祉サービスなどの増加

②情報通信技術の発達【 **IT革命** 】⇒ 情報サービス業の発達

どういうところで第三次産業就業者が多いだろう？

東京や大阪などの大都市周辺部に多い。

理由

（例）企業などが多いため人口が集中し、利用する人が多いから。